



THE GOSPEL NEWS

在日大韓基督教会 宣教90周年標語

일어나 예수 그리스도의 빛을 발하자
立て イエス キリストの光を放とう
(이사야60:1, 마태 5:16)



第36回 NCCC 総会開催
「和解と平和の実現のために」テーマに

第2回 常任委員会開催

在日韓基協と無関係임을公示키로

第48回総会期 第2回常任委員会が 3月21日(火)大阪教会で開かれた。

総会長 李聖雨牧師の司会。副総会長 金世榮長老が祈禱。後、肉の準備と霊的準備、題目。李聖雨牧師の説教。開会礼拝を 드렸다。

重要決議事項は 다음과 같다。

(1) 裁判関係事後処理(第1回 常任委員会決議事項1項)로 前總幹事姜榮一氏の損害賠償請求事件에 대한 判決이 11月15日에 確定되고 4個月이 지난 現在까지 誠意가 보이지 않음을 確認하다. 앞으로 3個月의 期間을 주어서 6月未까지 1,369万円을 弁償하도록 督促하기로 하다. 6月30까지 弁償하지 않을 때에는 所有財産의 競買処分을 하기로 하다.

(2) 宣教負担金 未納處理는 財政委員長이 提案한 宣教負担金 未納處理의 方針을 承認하다.

(3) 宣教政策會議는 宣教委員長이 提案한 宣教會會議 次回常任委員會前日인 11月2日에 開催할 案을 承認하다.

(4) 福音新聞廣告協力案으로 各地方會에서 2件(1件 年6万円)씩 廣告를 確保하도록 財政委員長이 協力支援하기로 하다.

(5) 大阪上町教會關係로 白井公郎牧師의 要求事項에 대해서는 大阪上町教會 財政對策委員長이었던 金石水長老가 弁護士와 相談對策을 提案하면 任委員會가 處理하도록 하다.

(6) 青年會全國協議會 要望事項은 社會委員會가 誠意를 가지고 對話하여 繼



第36回 NCCC 総会開催

「和解と平和の実現のために」テーマに

3月13、14日、日本キリスト教協議会の第36回総会が、総会期テーマ「主よ、遣わしてください」和解と平和の実現のために」のもと、日本基督教団下谷教会において開催された。KCCJからは、朴寿吉總幹事をはじめ7名の代表が参加した。

初日は、鈴木倫子議長の奨励による開会礼拝で始まり、議長報告や總幹事報告があった後、新役員が選出され、議長に奥石勇氏(日本基督教団)、副議長に小川義伸氏(日本バプテスト連盟)、書記に大村直子氏(日本基督教団)が新たに選出

された他、韓聖煥副議長(KCCJ)と平岡正幸書記(日本福音ルーテル教会)が留任された。

その後、新しい役員のもと、議事が進行され、常任委員会および常任委員会・各委員会・各部の報告がなされ、それぞれ承認された。

議事後には、総会記念公開プログラムとして、今年2月にブラジルのポルト・アレグレで開催された「WCCC(世界教会協議会)第9回総会報告」が行われた。報告会では、まず、西原康太氏(日本聖公会)がWCCCの歴史と今回の総会の概略などについて報告した。西原氏は、今回の総会のポイントとして、前回98年のハラレ総会から今回の総会までの間に戦争を止めることができなかったことへの世界教会の反省と新たな決意があったことや、カトリックのカスパー・枢機卿が、「エキシメニカル対話」とは、文書を取り交わすだけの作業ではなく、直接に顔と顔を合わせて、共に正義と平和のために闘うことである」と述べたことなどを挙げた。

西原氏の報告の後、渡部信氏(日本聖書協会)が総会中に行われた聖書研究について、上田博子氏(日本基督教団)が2001年から設定されているWCCCの「暴力克服の10年」の視点から、朴寿吉總幹事がマイノリティの視点からそれぞれ報告した後、大宮博氏(日本聖書協会)が総括的な報告を行った。

2日目は、朝の礼拝で始まった。礼拝の中で総会参加者たちは、昨夏に広島で行われた「子ども平和会議」の経過報告などがあつた。岩崎牧師の発題では、宣教協力委員会に先立つ3月6、7日に開催された日本基督教団の宣教方策會議の開催経緯とその内容が、日本基督教団の現状の諸統計に関する説明と共に報告された。

また山北牧師は、宣教協力指針に沿った形で、両教会の協力伝道や外務法問題などの「在日韓国朝鮮人」の人権問題への取り組みの強化、世界宣教のあり方や課題を共有し、担うことの必要性、共生社会を目指すための神学教育の確立、正しい歴史認識と日本の悔改めに基づく歩みの必要性などについて発題した。

2日目は、在日大韓基督教側からの発題として、

「在日大韓基督教側からの発題として、

「在日大韓基督教側からの発題として、

「在日大韓基督教側からの発題として、

「在日大韓基督教側からの発題として、

「在日大韓基督教側からの発題として、

「在日大韓基督教側からの発題として、

「在日大韓基督教側からの発題として、

「在日大韓基督教側からの発題として、

「在日大韓基督教側からの発題として、

「在日大韓基督教側からの発題として、

「在日大韓基督教側からの発題として、

「在日大韓基督教側からの発題として、

「在日大韓基督教側からの発題として、

「在日大韓基督教側からの発題として、

「在日大韓基督教側からの発題として、

「在日大韓基督教側からの発題として、

「在日大韓基督教側からの発題として、

「在日大韓基督教側からの発題として、

「在日大韓基督教側からの発題として、



(報告・李相勲)

歴史コラム⑤0

朝鮮イエス教連合公議会と在日宣教

李 清 一 (歴史編纂委員会)



写真:東京地域の教会が連合公議会の直轄下にあった時代の在東京朝鮮基督教連合野外礼拝(1937年4月18日、於:小石川植物園)

長老教会と監理教会、その4年9月に設立された朝鮮イエス教連合公議会(連合公議会)と朝鮮宣教師連合会によって担われることになった。1927年、カナダ長老教会(現:韓国NCC)は当初、朝鮮長老教会総会、朝鮮米監理教会、朝鮮南監理教会(南監理会)の3教会と6つの外国宣教師会、基督教青年連合会(YMCA)、英国聖書協会の計11団体で組織されたキリスト教

「実際に、キリストはわたしたちの平和であります。二つのものを一つにし、御自分の肉において敵意という隔ての壁を取り壊し、規則と戒律すくめの律法を廃棄されました。こうしてキリストは、双方を御自分に置いて一人の新しい人に造り上げて平和を実現し、十字架を通して、両者を一つの体として神と和解させ、十字架によって敵意を滅ぼされました」(新約聖書エフェソ書2章14、16節)。

私たちキリスト者は、イエス・キリストの十字架とその苦しみの意味を覚えるレント(四旬節)の期間を過ごしています。

現在、「テロ」の未然防止を目的とした「出入国管理」及び難民認定法(入管法)の改定案が閣議決定された後、国会で審議されている。その内容は、日本に外国・再入国する16歳以上の外国人(特別永住者や外交官などを除く)に指紋と顔画像を登録せよというものである。このレントの期間にあって、主イエスの十字架の意味を踏まえつつ、キリストに従うことを告白する私たちは、「隔ての壁、指紋押捺」を復活させようとするこの入管法改定案に反対することを表明いたします。

1980年、一人の在日コリアン1世が指紋押捺拒否を行ったことを皮切りに、在日外国人に対する管理・抑圧の象徴であった「外国人登録法」(外登法)の指紋押捺制度に対する反対運動が起り、多くの在日外国人が指紋押捺拒否という形で、日本の中にある差別や偏見を問い始めました。指紋押捺拒否を行う者の中には、日本で生まれた育った14歳の中学生や16歳の高校生の在日3世たちもいました。彼ら彼女らにとって「指紋押捺」は、自分たちが生まれ育った社会や日本人の友人たちと自分たちとを隔てる壁だったのです。

この在日外国人の魂の痛みの叫びに込め、日本基督教団と在日大韓基督教会は、それぞれ立場をもって、指紋押捺拒否運動に参加してきました。両教会は、1984年6月の聖霊降臨日に指紋押捺制度に反対して街頭署名活動を全国各地で一斉に行うなど、宣教の動きとして折りの中でこの運動を担ってきました。

その活動によって私たちは目指したことは、日本人と在日外国人を隔てる壁をイエス・キリストの十字架によって崩すことであり、国籍に関係なくすべての人が「神の子」としての尊厳が与えられる社会と主の平和を実現することでした。両教会、そして、さまざまな人たちの忍耐強い取り組みと折りの結果、2000年4月に外登法の指紋押捺制度は全廃されました。

しかし、その「指紋押捺」を、日本政府は、今度は入管法において復活させようとしています。私たちは、入管法改定案はさまざまな点で問題を含んでいると考えています。たとえば、日本国政府は、登録された指紋を生証にわたって保管し、法案の趣旨である「テロ」の危険性のある人物の入国防止以外の使用も公言しています。これは、法の目的外使用となり、認められるものではありません。

また、外国人だけから生体情報を探ることは、外国人はテロリストかもしれないという偏見を助長するものとも言えます。外登法の指紋押捺制度に反対した際、多くの在日外国人たちが、指紋押捺は自分たちを「犯罪者予備軍」と見なすものであり、人間としての品位と尊厳を傷つけるものとして反対しました。今度の入管法による指紋押捺は、外国人を「テロリスト予備軍」と見なすことになり、外登法の場合と同様、外国人の人間としての品位と尊厳を傷つけるもので、また、人種主義・人種差別・外国人嫌悪の助長をうながすことにつながるものです。

とくに、今回、私たちが危惧することは、こうした法改定が「テロ」防止の名のもとに、日本国民の不安を煽りながら進められているということ。私たちは、政府が日本国民の不安を煽った例を関東大震災に見ることができません。大震災時、日本国民が不安にある中、政府が積極的に流したデマによって、多くの在日朝鮮人の命が失われ、多くの在日多く行き来する世界にあって、私たちは、こうした人が

た。私たちは、そのような歴史の教訓から、政府が人びとの不安を利用すること、に危惧を覚えると共に、私たちキリスト者がそのことに対して、「見張り」の役割を積極的に担い、警鐘を鳴らさなければならぬことを学んできました。

現在、私たちが住む日本社会には、多くの在日外国人が訪れ、また居住しています。2004年の統計では、1年間に572万人も外国人が入国して、日本に3カ月以上居住し外国人登録をしている在日外国人も約200万人となっています。また、日本を出国し、外国を訪れる日本人の数も上昇し、年間1600・1700万人となっています。

私たちが、こうした人が多く行き来する世界にあって、

日本基督教団 総会議長 山北宣久
在日大韓基督教会 総会長 李聖雨

2006年3月31日

장터
韓国食品・書籍・CD・ビデオ
(株)韓国広場
新宿店: 東京都新宿区大久保1-17-7
TEL (03) 3232-5400
FAX (03) 3200-2949
代表取締役 金根熙

医療法人 おりお心クリニック
院長 金 長 壽
(福岡中央教会 長老)
診療科目: 神経科 精神科 心療内科
精神保健相談 酒害相談
診療所: 〒807-0825 北九州市八幡西区折尾4-2-8
TEL (093) 603-3280
FAX (093) 603-7985
自宅: 〒813-0003 福岡市東区香住ヶ丘1-14-8
TEL・FAX (092) 672-9410

株式会社 ニューキング 愛
有限会社 三
取締役社長 李 鍾 善
(名古屋教会 長老)
ニューキング 四日市市野田1丁目965-1
三 愛 TEL (0593) 31-4771(代)
岡崎市大和町字荒田14-1
TEL (0564) 31-8893(代)

中部地方会 「新しいキリストの体を求めて」テーマに 合同信徒研修会を開催

3月21、23日にかけて、中部地方会・連合女性会合同信徒研修会が、愛知県知多郡の「あい健康プラザ」で開催された。中部地方会所属の11教会・伝道所より67名(子ども7名)の出席が得られ、地方会の歴史としては、過去にない盛況な研修会となった。

研修会では、「新しいキリストの体を求めて」というテーマのもと、金仁果牧師(岐阜)により、聖書・神学・教派(教会史)的な観点から明快に、また豊かな経験を踏まえた、二度にわたる講演がなされた。さらに、総会・地方会・個教会の関係、牧師・長老・勸士・執事の職制の構造とその職分の意味について、総会憲法を参考資料に具体的な解説がなされ、教会論について、たいへん有意義な学習の機会となった。

また、信徒によるパネル・ディスカッションの時間があった。韓国出身信徒の本国での信仰生活や在日大韓基督教会での悩みと願いや、在日出身の信徒にとっての一世二世の父母の信仰教会との出合いの思い出と自分の信仰形成についての感慨深い発言があり、活発に意見を交わし合うことができた。信徒の出身が多様化する中で、互いの理解し、多様な肢をもった一つの体となる教会を目指していく上で、貴重な対話の時間となった。

また、特別講演では、張錫炫牧師(名古屋)が、在日大韓基督教会をディラスボラ(離散)の教会という観点から考察し、ディラスボラの聖書・ユダヤ民族史的な意味を踏まえながら、20世紀の植民地体験を経て、今日のグローバル時代を生きる海外同胞の教会の世界的存在意義を解説し、その中で在日大韓基督教会の宣教の展望を語った。斬新でユニークな講演であった。

プログラムの中では、ゴスペル・レッスンの時間が、名古屋教会のゴスペル宣教師ルーアッハによってなされ、参加者が讃美とウォーシップダンスで盛り上がるひと時もあった。今回の研修会において参加者たちは、在日出身者と韓国出身者、日本人を含め、これからの在日大韓基督教会を新しいキリストの体として受け止める、宣教の使命を自覚する上で、多くの学びを得たという喜びを分かち合うことができた。

総会神学生研修会開催 在日の宣教歴史をめぐり

2006年度 宣教師・神学生研修会が、4月1日(日)に在日大韓基督教会会館で開かれた。総会神学生研修会が、4月1日(日)に在日大韓基督教会会館で開かれた。総会神学生研修会が、4月1日(日)に在日大韓基督教会会館で開かれた。



2006年度 宣教師・神学生研修会が、4月1日(日)に在日大韓基督教会会館で開かれた。総会神学生研修会が、4月1日(日)に在日大韓基督教会会館で開かれた。総会神学生研修会が、4月1日(日)に在日大韓基督教会会館で開かれた。

総会神学校 卒業式及び入学式開催 4名の新入学者を迎え入れ

3月27日、総会神学校の第7回卒業式と2006年入学式が東京教会礼拝堂で行われ、2名の卒業生を送り出すと共に、4名の入学者を迎え入れた。

式では、親族と教会関係者が出席する中、韓聖煥牧師の司式のもと、朴米雄副総会長の「誠実な牧会者になりなさい」(ヨシヤ11:1-9)という題の説教、洪性完牧師による卒業生への激励と歓迎辞があった。李聖雨総会長、金漢範理事・李敬然副総会長の祝辞があった。式では、李聖雨総会長の祝辞をもつて終えた。

総会神学校は、1996年に開校されて以来、今年までに14名の牧会者を諸教会へと送り出している。現在、総会神学校は、多くの課題を抱え、一層の努力が求められる厳しい現実の中にいる。このような時にこそ、志願者や卒業生一人ひとりが神からの召命を見つ

め直さなければならぬ。神の恵みと導きあふれる神学校だからだ。全国の諸教会の主にある支えと励ましには、感謝の言葉が絶えない。(報告:洪性完)



2005年度の関西聖書神学院卒業式が、3月19日、本校舎(大阪北部教会)で行われた。

卒業式では、教務の趙永哲牧師の司会のもと、楊尚真牧師の祈りと大阪北部教会の聖歌隊による特別讃美に続いて、理事長の李海春牧師の「弟子の使命」と題してのメッセージがあった。その後、神学院院长の鄭然元牧師による卒業証書授与と奨励の言葉、関西地方会副会長の金石水長老による祝辞があり、最後に前神学院院长の金武士牧師の祝辞で卒業式を終えた。

今年の卒業・修了した神

関西聖書神学院 卒業式を挙行 8名が卒業・修了

2005年度の関西聖書神学院卒業式が、3月19日、本校舎(大阪北部教会)で行われた。

卒業式では、教務の趙永哲牧師の司会のもと、楊尚真牧師の祈りと大阪北部教会の聖歌隊による特別讃美に続いて、理事長の李海春牧師の「弟子の使命」と題してのメッセージがあった。その後、神学院院长の鄭然元牧師による卒業証書授与と奨励の言葉、関西地方会副会長の金石水長老による祝辞があり、最後に前神学院院长の金武士牧師の祝辞で卒業式を終えた。

今年の卒業・修了した神



朴憲郁 著

바울의 생애와 신학

동경신학대학 교수인 박헌욱목사의 저서 바울의 생애와 신학(일본어, 教文館에서 출판)이란 책이 고베동부교회 부목사인 박은숙목사가 번역하여 대한기독교서회에서 2005년12월에 출판되었다.

문의처: 0422-31-1751(박헌욱목사)

한 권: 1,200円

李正男長老が名誉長老 大阪北部教会で推戴式行う

3月26日、大阪北部教会にて、1980年から2005年までの25年にわたって同教会で長老として奉仕してきた李正男長老の名譽推戴式が行われた。

1部の礼拝では、堂会長の趙永哲牧師の司式のもと、関西地方会副会長の金石水長老の祝辞があった。3部では李正男長老の司会で祝賀会がもたれた。(報告:趙永哲)



李正男名誉長老推戴式

한국전통식품제조

백설처럼 하얗고 쫄깃합니다.
珍味 **쌀떡국·쌀떡볶이**
고소하고 진한 맛이 자랑입니다.
珍味 **참기름·볶음참깨**
한국전통의 참맛을 전하는 기업
製造元: 株式会社 世珍物産
東京都足立区南花畑4-8-4
各種 한국식품 도매판매 합니다
TEL (03) 5831-3830 FAX (03) 5831-3823
www.korealand.jp

海外旅行はマイカーで

自宅⇄空港の移動は絶対オススメです
有限会社 聖永商事
免税店 聖永商事
関西国際空港駐車場
デリバリーパーキング関空
VIPカーデリバリー関空
代表取締役社長 禹永吉(関空伝道所 長老)
代表取締役社長 禹辰磨(関空伝道所)
本社: 〒598-0045 大阪府泉佐野市松原2-5-6
TEL.0724-64-3719 FAX.0724-64-3503
フリーダイヤル: 0120-69-0775
E-mail: seiei@startpage.co.jp

愛三グループ

愛三産業株式会社 済州カントリー倶楽部

代表取締役社長 白一善

本社 東京都墨田区江東橋4-6-4 TEL (03) 3633-7477(代)
済州C.C 韓国済州市寧坪洞2238-2 TEL (064) 702-0451(代)
ソウル事務所 韓国ソウル特別市鐘路区内需洞167 TEL (02) 739-3327(代)

